

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【河合小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 算数「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させていく必要がある。反復や振り返りの時間が十分に確保できていない。	「書き込み式ドリル」や「ドリルパーク」や「スタディサプリ」を活用し、基本的な計算等の反復・習熟に取り組む時間を設定する【週2回の朝学習で実施】。その際、児童が自ら学習履歴を確認し、それを生かし、個別に学習計画を立てる時間を設定する【月に1・2度の自習学習タイムで実施】。 1人1台端末を活用し、学びのポイント「じ・し・ゃ・く」を意識した児童主体の授業を行い、成果と課題を教職員全体で共有する【学期に1度】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させていく必要がある。 児童が自己表現する過程を教師が十分に評価できていない。	評価規準を児童に示すことで、児童主体の振り返りを充実させる【毎時間】。 ICTを効果的に活用し、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出す。また、魅力ある導入や必要感のある課題設定を行い、解決の見通しをもたせた上で、児童が自力解決する場面の設定を行う【毎時間】。

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)